

令和4年度行政評価 施策評価シート (令和3年度実績)  
 施策名 多文化共生の実現に向けた社会づくり

施策コード 5030205

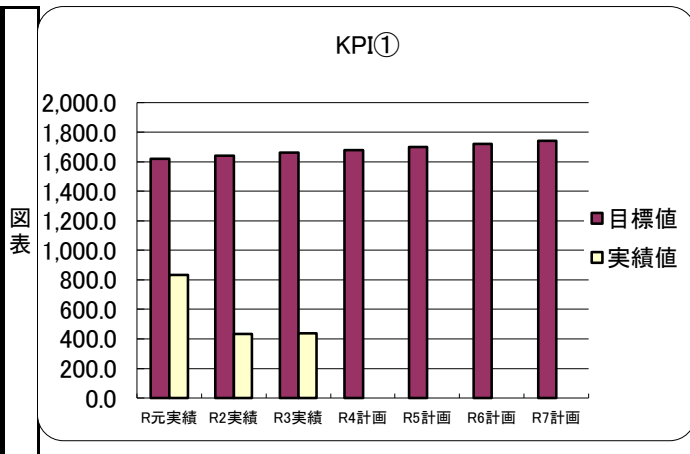
1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 自治振興課
関係課	政策推進課、人権推進課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり(自律・協働・多様性)	第2節 人権・多文化共生
	施策	多文化共生の実現に向けた社会づくり	
基本方針			
市民の国際理解に向けた取り組みを通じて在住外国人が地域とともに暮らすことができ、また、訪日外国人が快適に過ごせるように支援を行い、多文化共生社会の形成を進めます。			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の外国人人口は、2008(平成20)年3月末現在で805人から2018(平成30)年3月末現在で1,736人と10年間で倍以上に増加し、今後も増加が見込まれていることから、外国人に対する市民の国際理解を積極的に推進することが求められています。</li> <li>民間国際交流団体への事業委託により、市民の国際化啓発と多文化共生社会の形成を進めていますが、在住外国人や訪日外国人への多言語での情報発信が引き続き求められています。</li> <li>在住外国人が地域で孤立しないように生活支援を行い、在住外国人が自立し、社会参画の力を育むことが求められています。</li> <li>外国人であることを理由とする不当な就労上の取扱い、賃貸住宅への入居拒否などの人権問題、近年では特定の民族や国籍の人々を排斥するヘイトスピーチが起っています。</li> <li>外国人の人権問題に対する啓発を進める必要があります。</li> </ul>			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
本市在住の住民(外国人を含む)			
意図(どのような状態にしたいのか)			
在住外国人が地域とともに暮らすことができ、また、訪日外国人が快適に過ごせるような、多文化共生社会の形成を進めます。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)							
重要度(偏差値)							

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R2決算	R3決算					
コストの内訳	人件費	千円	0	0				
	事業費		0	0				
	フルコスト		0	0				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		0	0				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		0	0				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 在住外国人等への日本語教室の開催数							
項目	R元実績	R2実績	R3実績	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画
目標値	1,620.0	1,640.0	1,660.0	1,680.0	1,700.0	1,720.0	1,740.0
実績値	835.0	434.0	436.0				
達成度	51.54	26.46	26.27				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
在住外国人の日本語学習に対するニーズ、及びボランティア指導者の活動状況が把握できます。		平成29年度より、年間20回増を目標とし、最終、令和10年度には1800回開催をめざす。			回数は、外国人居住者の生活、就労状況により随時、増減する。また、H31年度後半以降は、新型コロナの影響を大きく受けている。		



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>1</b>	新型コロナの影響を大きく受けている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>1</b>	今後、新型コロナの影響により、外国人が居住、就労しづらい状況にある。
	合計点	(10点中) <b>4点</b>	
	総合評価	<b>D</b>	今後、新型コロナの影響が長引けば、指標の目標値を見直す必要もあると考える。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>D</b>	コロナ禍で、事業の中止・縮小などによる実績値の減少となったが、引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		<b>D</b>	コロナ禍で、事業の中止・縮小などによる実績値の減少となったが、引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
	事務事業		R3年度決算額			R4年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01007100	人権啓発事業					B
2	01083040	国際交流推進事業 (自治振興課)					B
合計							